

**小規模多機能型居宅介護 サービス評価**  
**【令和2年度 事業所自己評価】**

在宅ケアセンターひまわり

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月21日(19:00~20:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 牧野、清水、宮崎、中村、木村、米加田、田中、中川原、西浦、大岩、門岡、荒尾、西村、徳永、高田、泉田、南、松崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	14人	0人	1人	18人

前回の改善計画
・情報提供書や申し送りノート、目を通す事を怠らず、疑問に思った点や不明な点は介護支援専門員や上司に相談を行い、口頭だけではなく、話し合った内容も記録する ・家族とのやり取りも、フロア職員に伝わるよう、カルテに記録する
前回の改善計画に対する取組み結果
情報提供書や申し送りノートが活用され、情報共有は改善してきた。未確認情報など不明な点が残ったままになることはあるので工夫が必要である。新規利用者やその家族への利用開始後の聞き取りを行い、共有する。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	16	0	1	18
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	15	0	1	18
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	11	3	1	18
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	13	2	1	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・新規の利用者が入る時は、必ず情報提供書に目を通し、不明な点や詳しいことをケアマネージャーや上司に確認し、ケアを実施している ・問題や気になることがあれば、ケアマネージャーや上司に相談し、ご家族の意見も伺うようにしている。 ・本人が慣れていない時期は、表情や動作を細かく観察し、声かけや気遣いを行っている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・新規利用開始時、担当でない場合は、申し送りノートや情報提供書を見るだけでは情報は共有できない ・コミュニケーションが十分ではない時期は特に、本人のニーズが把握できない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
定期的なミーティングで現状を振り返り、ケアの方法などを統一していく。その際には家族からの情報なども共有する。 前回ミーティング後に利用開始となった新規利用者には特に留意する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月21日(19:00~20:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 牧野、清水、宮崎、中村、木村、米加田、田中、中川原、西浦、大岩、門岡、荒尾、西村、徳永、髙田、泉田、南、松崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	11人	3人	4人	18人

前回の改善計画

・本人との関わりを増やし、家族とのコミュニケーションを図り、何を望まれているのかを考え、ミーティングで意見を出し合い、ゴールの設定・共有を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

その時々本人の希望には出来るだけ沿うようにした。施設外活動ができない状態が続いているが、施設内に置き換えて実施していった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	10	6	2	18
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	9	7	2	18
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	10	6	2	18
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	11	4	3	18

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・目標・ゴールは把握できていないが、その場その場での「～したい」という願望には対応できている

・担当のご家族とは、病院受診同行などを通してコミュニケーションはとれている

・「～したい」の実現に向けて、本人や家族と意見交換しながら、現状理解を深めてもらい、出来ること、出来ないことは説明し、納得してもらうようにしている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・意思疎通が困難な場合には、本人のやりたいことがよくわからない

・各利用者個人のゴール設定が分からない為、目標を目指した関わりができていない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

家族からの密な情報提供はなくても、また、本人からの希望の訴えは困難でも、安全安心に心がけその時その時を穏やかに過ごすことができ、一つでも笑顔が増えるケアに努める

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月21日(19:00~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 牧野、清水、宮崎、中村、木村、米加田、田中、中川原、西浦、大岩、門岡、荒尾、西村、徳永、高田、泉田、南、松崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	4人	3人	18人

前回の改善計画
共有した内容について話し合う際に特に関わりある職員(担当)を中心に、それぞれ出た意見を集約して記録にまとめる。
前回の改善計画に対する取組み結果
ご本人が発する具体的な内容を持つ情報は乏しいが、観察から得られた情報を活かし、ケアに反映させている。スタッフ間の情報共有はやや不十分である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	4	7	6	18
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	12	0	4	18
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	4	8	6	18
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	9	3	2	18
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	11	0	3	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・体調や状況に合わせた食事形態の変更や、入浴か清拭か、また、排便確認を行い、その利用者にあった排便コントロールをスタッフ間で協議したりして、より適切な介護を行っている	
・利用者の体調、食事を食べるスピードなど、その人に合わせて介助するように心がけている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・話ができる方には以前のことを聞くことができるが、それが出来ない方は把握するのが難しい	
・カルテ内の基本情報でしか把握できていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①定期的なミーティングと有事の際の臨時ミーティングの開催 ⇒言語的コミュニケーション	
②情報共有のための適切な記録 ⇒非言語的コミュニケーション	
①と②によりスタッフ間で情報共有し、ケアに活かす	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月21日(19:00~20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 牧野、清水、宮崎、中村、木村、米加田、田中、中川原、西浦大岩、門岡、荒尾、西村、徳永、高田、泉田、南、松崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	3人	9人	6人	18人

前回の改善計画	・本人の住む地域と関わる機会がない為、まずは、地域を理解し、資源の情報を収集する。
前回の改善計画に対する取組み結果	隣保のスタッフからの情報などを共有することに努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	9	7	2	18
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	8	5	5	18
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	10	4	18
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	6	10	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の家族のことなど、利用者の話をよく聞くようにしている ・情報提供書や家族、本人からの聞き取りにより理解している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人の生活スタイルや人間関係をあまり知らない ・家族の話が一番だと思うが、話ができる機会、時間が少ない ・担当の利用者の家族とは面会に来られた時にできるだけ話をしているが、他の利用者の家族とは話ができない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新型コロナによる面会制限はあるが、病院受診や洗濯の受け渡しなどの機会を活用し、地域や家族との関係性の保持に努める。 地域の資源などの情報の必要性をスタッフも理解し、情報交換を積極的に行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月21日(19:00~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 牧野、清水、宮崎、中村、木村、米加田、田中、中川原、西浦、大岩、門岡、荒尾、西村、徳永、高田、泉田、南、松崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	9人	2人	5人	18人

前回の改善計画	・急な利用者の要望に(買い物等)対応出来てない面もあり、今後は柔軟性・多様性のある支援が出来るように、情報の共有を濃くする。
前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナによる面会制限や外出制限などにより、ニーズへの支援はあまり実行できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	4	8	18
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	8	1	3	18
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	8	4	3	18
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	8	4	2	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の急な体調の変化、また家族の都合により、通い・訪問・泊まりが、適切に提供、ケアできている。またスタッフにも申し送りできている	
・個々に合わせたサービスは提供できている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・新型コロナによる面会制限などにより、地域との関わりがもてていない	
・以前は老人会などのお誘いがあったが、利用者自身の高齢化・重症化により会への参加が困難になってきた	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
柔軟な支援のために、本人の変化に敏感でいる(「何か違う」ことに気づく知識と感性を持つ)。また、その情報を共有し、早期発見・早期対応に心がける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月21日(19:00~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 牧野、清水、宮崎、中村、木村、米加田、田中、中川原、西浦、大岩、門岡、荒尾、西村、徳永、高田、泉田、南、松崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	4人	6人	18人

前回の改善計画	・会議には上司・介護支援専門員が参加する為、申し送り等で疑問・質問等を上司に上げ、会議での内容の情報収集に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	施設内の会議内容は概ね共有できていたが、決定事項の実施は不十分なこともあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	2	3	13	18
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	1	16	18
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	0	2	16	18
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	5	13	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・諸機関からの通達事項などは、申し送りノートに記載したり、閉じたりして全員で回覧を行っている
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事・会議などの参加、開催ができていない
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 施設(組織)は単独で存在せず、地域のさまざまな機関や団体によって支えられていることを理解する。現在は、会議など自粛しているが、活動が再開された際には参加できるよう関心を持って情報を捉えておく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月21日(19:00~20:00)

7. 運営

メンバー 牧野、清水、宮崎、中村、木村、米加田、田中、中川原、西浦、大岩、門岡、荒尾、西村、徳永、高田、泉田、南、松崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	8人	4人	18人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>特定の職員が対応しているので、イベント等の参加ができなくても、準備等に出来るだけ協力し、少しでも関わりを持ち、全員で参加する</li><li>その後の反省、次回への課題を全員で話し合う</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
地域の中での関わりは、できなかったが、施設内での行事には協力する姿勢で臨んでいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	3	9	2	4	18
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	4	2	18
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	5	9	18
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	4	13	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>意見、苦情等があがってきた場合、対応策を考え、上司と相談を行い、運営にも反映している</li><li>また、対応策もスタッフで共有できている</li><li>本人・家族からの意見、苦情等は報告・相談、対応できている</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>地域との関わりはほとんどできていないが、状況に合わせていければ、今後は出来る機会はあると思われる</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
直接的な関りだけが運営ではない、組織の一員として組織を支えているという自覚を持つ。 最も身近な運営である行事でいえば、企画・運営・結果報告まで一連の流れとして、担当者が一貫して責任を持って実施する。行事は負担も大きいので、スタッフ全員が平等に担当し、その他のスタッフも協力する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月21日(19:00~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 牧野、清水、宮崎、中村、木村、米加田、田中、中川原、西浦、大岩、門岡、荒尾、西村、徳永、髙田、泉田、南、松崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	4人	11人	18人

前回の改善計画
・事前に研修の内容、日程を把握し、内容に疑問がある場合は、上司と相談し、自分に今必要な研修を受講する。
前回の改善計画に対する取組み結果
施設内研修の資料は、定期的に配布しているが、学習の度合いには個人差があるのが現状である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0	1	7	10	18
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	1	4	13	18
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	3	15	18
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6	3	8	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・施設内研修は、コロナの影響で書面(テキスト)での研修になったが、職員全員に配布され、目を通すことができた	
・転倒などないように見守りは十分行っている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・施設外での活動がほとんどできなかった	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
施設内研修の資料は必ずチェックし、学習を深める(資料が見やすくなるよう編集を工夫する)。施設外研修の受講が困難な状況であり、施設内研修で適切なテーマを選択し、活用する。ケアの質の向上に学習は欠かせない。ケアの質は施設理念でもあり、出来る事を出来るところから取り組む姿勢を身に着ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月21日(19:00~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 牧野、清水、宮崎、中村、木村、米加田、田中、中川原、西浦、大岩、門岡、荒尾、西村、徳永、高田、泉田、南、松崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	12人	3人	1人	18人

前回の改善計画	・利用者に配慮したケア。落ち着いた雰囲気になるような、声の大きさとトーンを心掛ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	声をかける時の、声の大きさやトーン、話し方や言葉遣いなどは、意識している時はできるが、緊張感を欠くと、不十分な状況もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	15	3	0	0	18
②	虐待は行われていない	16	2	0	0	18
③	プライバシーが守られている	9	8	1	0	18
④	必要な方に成年後見制度を活用している	8	5	1	4	18
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	12	0	0	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・声をかける時、周りに気づかれないように声のトーンをおとしている ・挨拶など声かけをする時、伝わりやすいように声の大きさやトーンなどに配慮している

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・ドアを締め切りでいること自体少ないが、部屋に入るとき、ノックや「入ります」等の声かけを忘れてしまうことがある ・基本的な礼儀を忘れてしまうことがあるが、それは緊張感の欠落や、利用者に許されると思ってしまう気持ちが少なからずあるからと思われる

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
人権その他に対する倫理的配慮は、質的にも高いケアが行われていると評価される。 日々の学習を通じて、倫理的感性を磨く。	

令和2年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社ひまわり	代表者	高江 康明	法人・事業所の特徴	利用者様の今まで人生で培った価値観・人生観を尊重する介護を目指しています。様々な活動を通じて、自分の家にいるように感じて頂けるような支援を行い、ご家族の方も含めた生活環境の維持・継続を目指しています。又、地域の人々との繋がりを大切にし、地域のイベントなどに積極的に参加し、地域との交流を深めています。
事業所名	在宅ケアセンターひまわり	管理者	松崎 眞理子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	1人	0人	1人	1人	0人	4人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今後も、研修内容・自己評価内容を、常に意識し、業務に取り組み、プロとしての自覚を持つ。	(コロナ禍で)地域や外部機関との関わりが持たず、施設外での研修参加も出来なかった。自己学習にも個人差があり、標準化していく必要がある。	・多忙な職員の情報共有に申し送りノートは有効であり、活用されていると思う。	定期的なミーティングで現状を振り返り、ケアの方法などを統一していく。その際には家族からの情報なども共有する。新規利用者の情報には特に留意する。
B. 事業所のしつらえ・環境	常に環境整備を行い、安全・快適に過ごせる空間を作り、職員も働きやすい環境を作ることに努める。	(コロナ禍で)感染対策として、予防に係る環境整備は体得出来てきた。物品の整理整頓や管理は担当者や気付いたスタッフが実施している。	【訪問できず、確認ができないのでわからない】	安心・安全の基盤でもある環境づくりには今後とも取り組んでいく。環境整備のハード面に関してはミーティングで検討し、環境づくりを共有する(担当者だけの負担としない仕組みづくり)。
C. 事業所と地域のかかわり	地域を理解し、資源の情報収集を行い、行事等に積極的に参加し、地域の方とコミュニケーションを図る。	(コロナ禍で)文字通りビニールシート越し程度の関わりしか持たなかった。	・コロナ禍で協力の機会が減っているのが残念であるが、参加が可能な一部の職員からは、協力が得られている。	許される範囲内で、積極的に関わっていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	今後も、相談窓口を設け、いつでも相談できる場所を提供する。	(コロナ禍で)対面による相談は難しい状況であったが、出来る限りの対応に努めた。病院受診や洗濯物等の受け渡しの時(ガラス戸越し)を、ご家族との面会の機会としたりした。	【訪問できず、確認ができないのでわからない】	職員の問題志向力を高め、家族の負担感を敏感につかみ、支援に結び付ける。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の内容をミーティングにて報告し、全職員が共有・把握し日々の業務に取り組む。	(コロナ禍で)会議の開催は出来ていないが、会議の存在は意識することが出来た。	【会議が開催されていないため、確認ができないのでわからない】	運営推進会議の意義と、施設に求められている支援を理解する。(職員の異動もあり、会議をよく知らない者もいるため、再確認する)
F. 事業所の防災・災害対策	緊急連絡網を作成し、緊急対応マニュアルに添付し、緊急時に活用できるようにする。	緊急連絡網を作成し、随時更新している。	【施設内・外の訓練に参加できず確認ができないためわからない】	年2回の消防訓練には、できるだけ多くの職員が参加し、体験学習できる機会とする。